



信楽小学校で1月19日(水)、全校生徒と地域の方々が交流する「ふれあい祭り」が行われました。この祭りには、地域のお年寄りや民生児童委員、健康推進委員など約60人に協力いただき、もちつきや独楽まわしなどの昔のあそびを教わり、2年生は畑の先生の指導のもと、育てた大根を入れたおでんパーティー、3年生は七輪を使つての陶器作り体験をしました。また4年生はアルミ缶を使つてのリサイクル万華鏡作り、5年生は春から育てたもち米・大豆を使つてのおこわや豆腐作り、6年生は戦争体験者から当時の話を聞かせて頂いた後すいとんを試食、なかよし学級はシニアッキングさんとなべ大会など、各学年ともそれぞれが地域の方々と「ふれあい」しました。



△うまくつけるかな?

「ふれあい」を通じて・・・

子どもたちはもちろん、来てくださった地域の方々もとても喜んでおられ、「来年もぜひ来ます」といった声が聞かれました。



△地域の方々との「ふれあい」

- 展示場所 甲南ふれあいの館 民具展示室
- 展示期間 3月5日(土)～5月31日(火)
- 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
- お問い合わせ先 甲南ふれあいの館 ☎86-7551

先人の知恵を学ぶ

『甲賀のくすり暮らし』

入館無料

甲賀は、富山、奈良と並んで古くから薬の町として知られていることをご存知ですか？

昔から甲賀の薬屋さんたちは、各家庭に各種の薬をあずけておき、その後、使用された薬の代金を受け取り、また新しい薬と交換する方法で全国を行商していました。この方法を「配置販売」といい、交通が発達していない地方の家庭では特に重宝されたそうです。

もともと甲賀の薬は、甲賀地域の山伏が全国を廻り、伊勢朝熊岳明王院や多賀大社などのお札さんを配りながら薬を土産として持ち歩いたことが始まりといわれています。

今回の企画展『甲賀のくすり暮らし』展では、甲賀の先人たちが残した薬草・くすりの知識や知恵を知り、私たちの暮らしを今一度見直してもう一つおうち、薬の原料となる薬草の実物や薬づくりの道具、昔ながらの配置売薬の道具などを展示します。



▲昔ながらの薬が並びます